



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月10日

上場会社名 ソースネクスト株式会社
コード番号 4344 URL <http://www.sourcenext.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 COO (氏名) 小嶋 智彰
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 CFO (氏名) 青山 文彦
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6254-5231

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,277	12.0	962		873		770	
2023年3月期第1四半期	2,033	6.8	909		783		750	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 843百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 679百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	5.69	
2023年3月期第1四半期	5.54	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	18,298	9,075	46.2	62.41
2023年3月期	19,639	9,903	46.9	67.92

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 8,459百万円 2023年3月期 9,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		0.00	0.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,431	39.6	969		954		790		5.83
通期	16,649	60.9	110		106		63		0.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	136,349,600 株	2023年3月期	136,349,600 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	800,024 株	2023年3月期	800,024 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	135,549,576 株	2023年3月期1Q	135,497,576 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が収束の傾向にあり、2023年5月8日に感染症法上の分類が5類へ移行されたことにより、経済活動の正常化が進展しました。また、国内外における出入国の規制撤廃の動きが進み、国境をまたぐ人の往来の回復はCOVID-19以前の水準にむけて進んでおります。一方で、ウクライナ情勢の長期化や急速な為替変動に伴う原材料価格の上昇や金融資本市場の変動等が続き、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、2023年4月～2023年6月におけるパソコン出荷台数が前年比94.7%で推移しました（2023年7月、JEITA調べ）。またインバウンド・アウトバウンドの回復が進み、2023年4月～2023年6月の訪日外客数は5,921,436人（COVID-19影響前の2019年比31.0%減、前期比1,354.8%増）となり、出国日本人数は1,939,144人（COVID-19影響前の2019年比58.1%減、前期比346.1%増）となりました（2023年7月、日本政府観光局調べをもとに当社作成）。

こうした状況の中、当社グループのAI通訳機「POCKETALK（ポケトーク）」の国内の販売台数は、水際対策が撤廃されたことによるインバウンド・アウトバウンド需要の拡大や、今後の更なる回復への期待もあり、オンラインショップチャンネルを中心に前期比で増加しました。また、海外市場においても、特に米国では既に導入されている、医療機関、公共機関、その他企業等で好評をいただき、メディアの露出による認知の拡大や大型のリポート購入が順調に進んでおります。2023年7月25日にソフトバンク株式会社と包括的業務提携契約を締結したことにより、国内及び海外市場における更なる販売強化を見込んでおります。

2023年3月に、「ポケトーク」ブランドの新製品として、OpenAI社の技術を活用した法人向けのビジネスシリーズ「ポケトーク for BUSINESS」の「同時通訳」販売開始を発表し、加えて年内発売予定の製品として「ムービー翻訳」、「カンファレンス」を発表いたしました。「ムービー翻訳」、「カンファレンス」とも引き合いが強く、「ムービー翻訳」は正式リリース前から導入検討企業が複数出ており、「カンファレンス」に関してもデモ版が既に複数のビジネスカンファレンスで使用され、好評をいただいております。サブスクリプション型製品である同シリーズに注力することで、安定した収益基盤を形成して参ります。

その他のIoT製品については、文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo（オートメモ）」で、2023年3月よりChatGPTの開発元であるOpenAI社の音声認識エンジン「Whisper」を採用して以降、ユーザー数の増加が加速し、累計アカウント数は2023年7月末時点で90,000を突破しました。また、製品の品質向上により、サブスクリプション型テキスト化サービスへの加入も増加しており、6月の月間新規加入者数は、2020年12月の「オートメモ」発売以降最多（無料キャンペーン期間を除く）となりました。2023年8月1日に提供開始したwebアプリ「AutoMemo Home（オートメモ ホーム）」により、さらなる有料会員数増加が見込まれます。

360度webカメラシリーズ（「Meeting OWL Pro（ミーティングオウル プロ）」、「KAIGIO CAM360（カイギオ カム360）」）の販売も好調に推移し、2023年5月に「ミーティングオウル プロ」の累計出荷台数が30,000台を突破しました。

ソフトウェアでは、パソコン出荷台数が減少するなどパソコンソフトを取り巻く市場が低調であるものの、携帯キャリアによるアプリ使い放題サービスや、読める留守番電話「スマート留守電」のサブスクリプション型サービスの新規ユーザー獲得が好調に推移し、ソフトウェア全体の売上高は前期と同水準で推移しました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は22億77百万円（前期比12.0%増）、売上総利益10億98百万円（前期比38.6%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、今後の「ポケトーク」事業拡大のための人件費や広告宣伝費の増加、当社直販サイトを新システムへ移行することに伴う業務委託費の一時的な増加等がありました。結果、販売費及び一般管理費は20億61百万円（前期比21.1%増）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失は9億62百万円（前期営業損失9億9百万円）となりました。

円安の進行に伴う為替差益1億36百万円の影響により、営業外収益は1億40百万円（前期比28.4%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経常損失は8億73百万円（前期経常損失7億83百万円）となりました。非支配株主に帰属する四半期純損失が96百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億70百万円（前期親会社株主に帰属する四半期純損失7億50百万円）となりました。

当社グループはIoT製品、ソフトウェアの企画・開発・販売及びその他のサービス事業の単一セグメントでありませんが、各販売チャンネルの営業概況は以下の通りです。

ア) オンラインショップ

当チャンネルでは、当社直販サイト及びAmazon等の国内ウェブサイトにおけるオンラインショップにおいて、

「ポケットーク」や「オートメモ」をはじめとするIoT製品、年賀状ソフトやセキュリティソフトなどのソフトウェア製品等を販売しております。

当第1四半期連結累計期間はAmazon等の国内webサイトでの販売が好調に推移しました。インバウンド・アウトバウンドの復活による「ポケットーク」の需要回復や、販売製品数の拡充により、売上高が前期よりも増加しました。一方で、当社直販サイトではパソコン出荷台数の減少やサイトアクセス数の減少の影響が大きく、売上高が前期比で減少しました。

この結果、当チャンネルの売上高は10億19百万円(前期比2.1%減)となりました。

イ) 家電量販店

当チャンネルでは、主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けのIoT製品及びパソコンソフト等を販売しております。

当第1四半期連結累計期間はハードウェア製品を中心に販売が好調に推移しました。インバウンド・アウトバウンドの復活による「ポケットーク」の需要回復や、前第1四半期累計期間に不採算IoT製品の店頭からの撤退を決定し返品を取り込んでいた影響で売上高は前期比で増加しました。

この結果、当チャンネルの売上高は4億19百万円(前期比72.4%増)となりました。

ウ) 法人営業

当チャンネルでは、「ポケットーク」を始めとするIoT製品並びにweb会議関連のハードウェアの法人向け販売・レンタル提供や、パソコンソフト・スマートフォンアプリの使い放題サービスの提供等をしております。スマート留守電を中心とするスマートフォンアプリケーションの月額販売にも注力しております。

当第1四半期連結累計期間は、ハードウェア製品、ソフトウェア製品ともに販売が好調に推移しました。インバウンド・アウトバウンドの復活による「ポケットーク」の需要回復や、携帯キャリアによるアプリ使い放題サービス好調の影響で売上高は前期比で増加しました。

この結果、当チャンネルの売上高は5億94百万円(前期比17.0%増)となりました。

エ) その他

海外では米国や欧州のAmazon及び法人直接販売取引を中心に「ポケットーク」を販売しております。

当第1四半期連結累計期間において、海外での「ポケットーク」販売は前期と同水準で推移しました。EC販売において、低価格の旧製品を順次販売終了したことによる、一時的な減少要因がありましたが、米国にて法人による大型のリピート購入が進んでおり、第2四半期以降は増加傾向に戻る見込みです。

この結果、「その他」の売上高は2億44百万円(前期比1.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比較し13億41百万円減少し、182億98百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少9億1百万円、商品及び製品の減少3億22百万円によるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較し5億14百万円減少し、92億22百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少1億30百万円、その他流動負債の減少2億82百万円によるものです。

経営の安定性を示す自己資本比率は、当第1四半期連結会計期間末において46.2%(前連結会計年度末46.9%)と堅調に推移しており、財務の安全性が保持されております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,484,572	5,583,184
売掛金	1,264,988	1,168,198
商品及び製品	3,345,704	3,023,457
原材料及び貯蔵品	65,426	68,007
前渡金	860,637	880,862
その他	485,574	457,670
流動資産合計	12,506,905	11,181,380
固定資産		
有形固定資産		
有形固定資産	394,441	397,447
減価償却累計額	△316,987	△323,740
有形固定資産合計	77,453	73,706
無形固定資産		
ソフトウェア	1,183,049	1,165,260
契約関連無形資産	1,078,590	1,059,214
その他	813,793	896,636
無形固定資産合計	3,075,433	3,121,111
投資その他の資産		
投資有価証券	3,372,612	3,349,323
繰延税金資産	506,055	475,461
その他	100,878	97,104
投資その他の資産合計	3,979,545	3,921,888
固定資産合計	7,132,432	7,116,706
資産合計	19,639,337	18,298,087
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,289	197,591
短期借入金	4,600,000	4,600,000
1年内返済予定の長期借入金	520,080	520,080
未払金	913,133	854,781
未払法人税等	36,712	24,152
前受収益	439,529	462,839
賞与引当金	26,115	58,234
その他	609,696	327,135
流動負債合計	7,404,557	7,044,816
固定負債		
長期借入金	2,129,820	1,999,800
長期前受収益	201,928	177,567
固定負債合計	2,331,748	2,177,367
負債合計	9,736,305	9,222,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,701,935	3,701,935
資本剰余金	7,332,327	7,332,327
利益剰余金	△1,889,953	△2,660,636
自己株式	△163,122	△163,122
株主資本合計	8,981,187	8,210,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,156	159,491
為替換算調整勘定	99,631	89,050
その他の包括利益累計額合計	224,788	248,541
新株予約権	258,724	275,026
非支配株主持分	438,332	341,831
純資産合計	9,903,032	9,075,903
負債純資産合計	19,639,337	18,298,087

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,033,900	2,277,444
売上原価	1,240,995	1,178,446
売上総利益	792,904	1,098,998
販売費及び一般管理費	1,701,964	2,061,890
営業損失(△)	△909,060	△962,892
営業外収益		
受取利息	4,843	37
受取配当金	2,088	2,271
為替差益	189,285	136,299
その他	352	2,179
営業外収益合計	196,569	140,787
営業外費用		
支払利息	11,388	17,315
持分法による投資損失	58,080	33,830
その他	1,141	-
営業外費用合計	70,610	51,145
経常損失(△)	△783,101	△873,250
特別利益		
投資有価証券売却益	-	21,384
新株予約権戻入益	3,773	1,762
特別利益合計	3,773	23,146
税金等調整前四半期純損失(△)	△779,328	△850,104
法人税、住民税及び事業税	1,819	1,725
法人税等調整額	△1,095	15,441
法人税等合計	723	17,166
四半期純損失(△)	△780,051	△867,271
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,044	△96,588
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△750,007	△770,682

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△780,051	△867,271
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,540	34,334
為替換算調整勘定	47,597	△10,493
その他の包括利益合計	100,137	23,840
四半期包括利益	△679,914	△843,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△652,206	△743,740
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,707	△99,690

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。